

自然レポート 2021

～2021年の取組を紹介します～



北九州市環境局
北九州市自然環境保全ネットワークの会

もくじ

1.はじめに	2
--------	---

2.第2次北九州市生物多様性戦略の基本目標と基本施策	3
----------------------------	---

3.自然ネットの取り組み・自然ネット参加団体等の取り組み・戦略基本目標	4
-------------------------------------	---

戦略基本目標 1	● NPO法人環境ネットワーク	6	
	● 北九州グリーンヘルパーの会		
	● 北九州植物友の会		
	● NPO法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会	7	
	● NPO法人 里山を考える会		
	● 女性植物友の会		
	● 日本熊森協会 福岡県支部	8	
	● 深町どんぐりのもり保育所		
	● NPO法人帆柱自然公園愛護会		
	● 紫川河川塾 ● 皿倉登山鉄道株式会社(皿倉山)	9	
戦略基本目標 2	● 合同会社Discover Walks		
	● 北九州市立市丸小学校	10	
	● 北九州インタープリテーション研究会		
	● (公財)北九州活性化協議会もったいない総研		
	● NPO法人 北九州国際自然大学校	11	
	● 北九州ほたるの会		
	● 福岡県立東筑高等学校生物部		
	● 森の育ち場	12	
	戦略基本目標 3	● 今町校区まちづくり協議会	
		● ガシャモク再生の会	
● 曾根新田花咲く町づくりふれあい会		13	
● 公益財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団			
● 日本カブトガニを守る会福岡支部			
● “平尾台・広谷湿原”ラムサール条約登録実行委員会		14	
● 私たちの未来環境プロジェクト ● 光和精鉱株式会社			
● TOTO株式会社		15	
戦略基本目標 4		● 北九州高校魚部 ● NPO法人グリーンワーク	
		● グリーンパーク活性化共同事業体	16
戦略基本目標 5	● 九州国際大学附属高等学校生物研究部		
	● ジオ&バイオ研究会		
	● 日本野鳥の会北九州支部	17	
	● 緑の回廊事業(どんぐり苗の育苗)の協力企業		

4.市各部署の取り組み

4-1	里地里山の持続的な利用	18
4-2	長野緑地「市民参加による農業体験教室」	
4-3	学習プログラムの取り組み	19
4-4	中山間地域農業支援事業	
4-5	地産地消の推進	20
4-6	多面的機能支援事業(旧:農地・水保全管理事業)	
4-7	環境学習事業の推進	21
4-8	自然環境に精通した人材の育成	
4-9	ほたるのふるさとづくり	22
4-10	荒廃森林再生事業	
4-11	竹等粉碎機貸出事業	23
4-12	流域ネットワーク推進事業 紫川流域会議	
4-13	流域ネットワーク推進事業 ラブリバー撥川ネットワーク	24
4-14	地域固有の生態系の保全と利用 曾根干潟環境保全の取り組み	
4-15	天然記念物平尾台土地買い上げ事業	25
4-16	希少種の保全(ガシャモク保護対策)	
4-17	外来種対策への取り組みについて	26
4-18	響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(植樹による緑の回廊づくり)	
4-19	響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(響どんぐり銀行)	27
4-20	響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業(緑の拠点づくり)	
4-21	新門司北地区緑地整備の取り組み	28
4-22	環境首都100万本植樹プロジェクト~まちの森	
4-23	環境影響評価制度推進事業	29
4-24	環境配慮指針活用推進事業	
4-25	自然環境調査の実施とデータベースの構築	30

① はじめに

北九州市は、
「第2次北九州市生物多様性戦略（2015年度－2024年度）」
を策定し、自然と人とのかかわりの歴史や経験を活かし、
将来にわたって豊かな自然の恵みを楽しむ社会の実現を目指します。

基本理念

都市と自然との共生

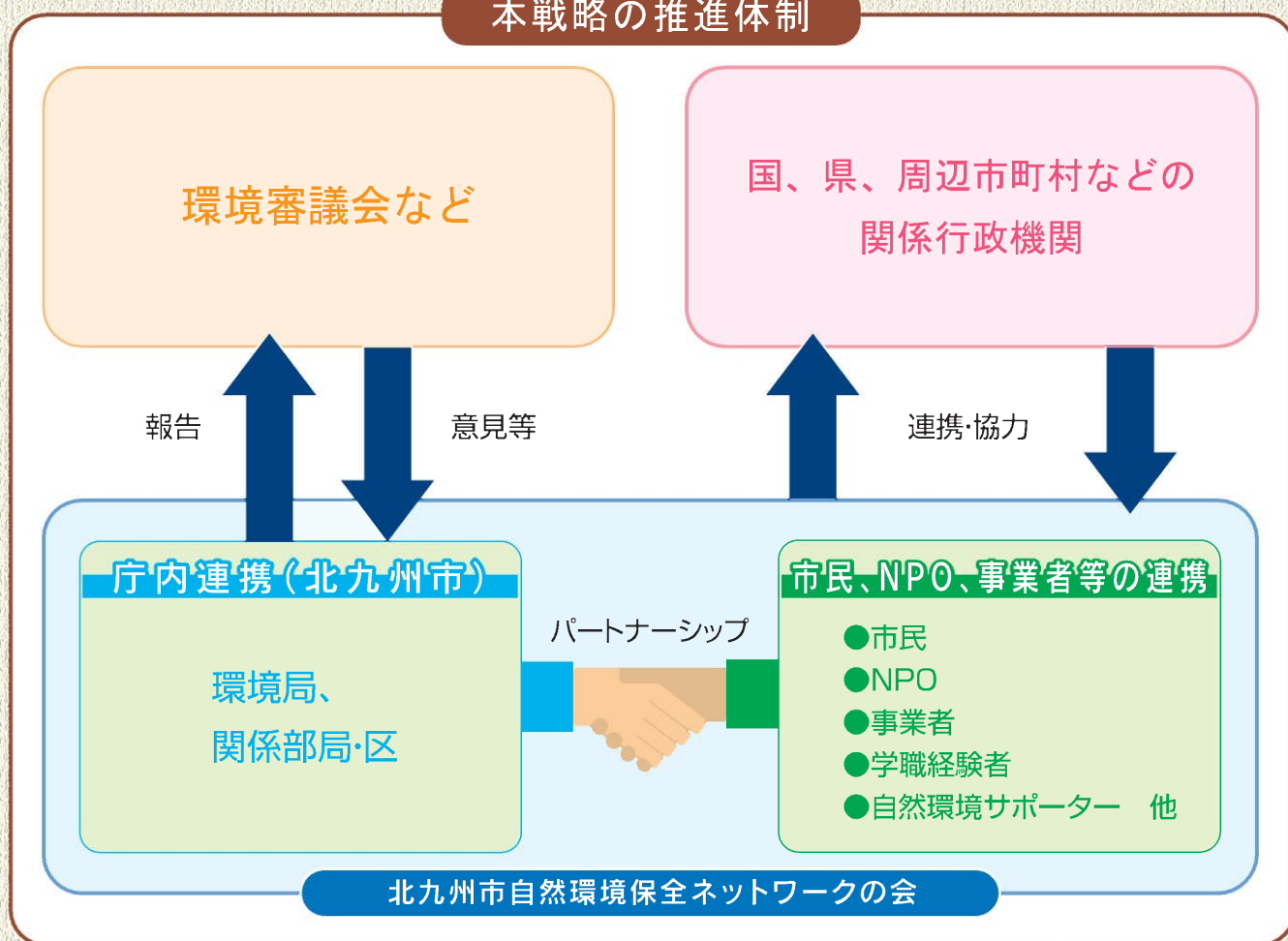
～「豊かな自然の恵みを活用し 自然と共生するまち」の実現を目指して～

本戦略は、パートナーシップの考えのもと、市民、NPO、学識経験者、事業者及び市で構成する「北九州市自然環境保全ネットワークの会（通称：自然ネット）」が進行管理しています。

また、戦略の進捗については、数値目標を定めて評価を行うとともに、環境審議会に報告しています。

これらを通じて、戦略についてのPDCAサイクルを適切に回していきます。

本戦略の推進体制



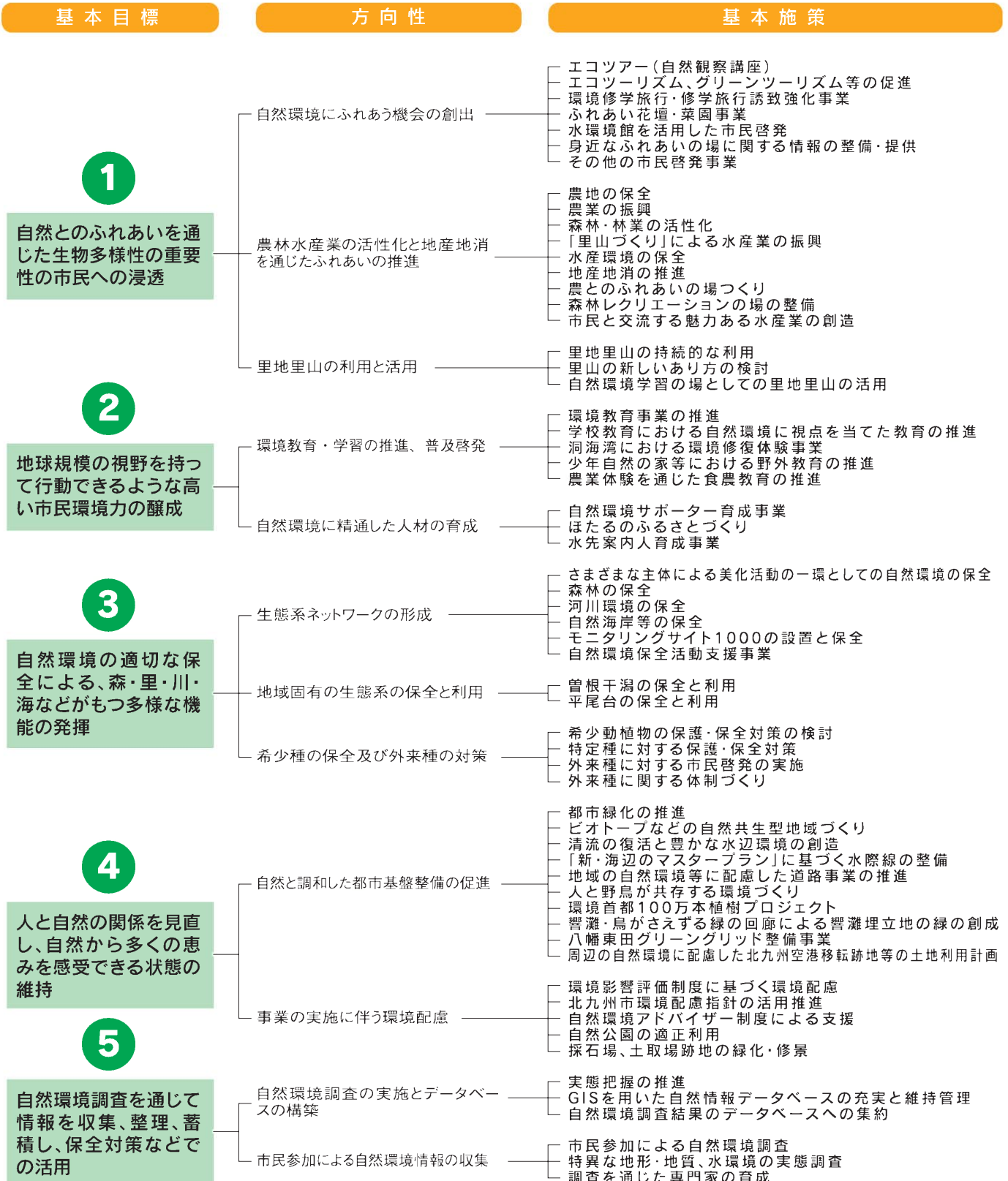
2 第2次北九州市生物多様性戦略の基本目標と基本施策

戦略の5つの基本目標

基本理念の実現を目指すにあたり、取り組みを着実に推進するため戦略の基本目標を設定します。

12の方向性と60の基本施策の設定

基本目標の達成のために、取り組む施策の方向性と基本施策を設定します。



3 自然ネットの取り組み

自然ネットは、さまざまな活動を主催、もしくは開催協力を行った。

学習・交流

1 自然講演会 静岡大学教育学部准教授 加藤 英明氏

■ 実 施：令和3年7月31日 黒崎びびしんホール 大ホール
 ■ 参加者数：681人



団体活動紹介

■ 実 施：令和3年7月31日 黒崎びびしんホール ホワイエ



実践活動

2 自然環境体感講座などへの協力

一般市民を対象に気軽に参加できるツアーという形式で幅広く参加を呼びかけ、生物多様性や自然環境保全の重要性を啓発することを目的とする。

カブトガニ産卵観察ツアー

■ 実 施：令和3年7月24日 曾根干潟
 ■ 参加者数：26人



自然ネットの取り組み

平尾台の秋を感じよう

実施：令和3年10月23日 平尾台
参加者数：22人



すごいぞ！北九州の自然(外国人モニターツアー)

実施：令和3年11月6日 エコタウンセンター、風車(響灘北緑地公園)、JESCO(北九州PCB処理事業所)、響灘ピオトープ
参加者数：20人



すごいぞ！北九州の自然(菅根干潟編)

実施：令和3年11月20日 菅根干潟
参加者数：29人



情報の発信

3 情報の発信

- 情報誌「自然ネットだより」の発行
自然環境活動情報や会員の活動情報などを自然ネット会員へ伝える情報誌を発行(年4回)
- 「メールマガジン」の発信
自然環境活動情報を自然ネット会員へパソコン・携帯メールで配信(月1回程度)

